

整理番号	HT26192	分野	医歯薬学	(キーワード)子宮・胎児・超音波
------	---------	----	------	------------------

奈良県立医科大学

【命を産み出す子宮とそれを蝕む病～原因からその予防法を一緒に考えてみよう～】

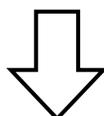
先生(代表者)	小林 浩(こばやし ひろし) 産婦人科・教授			
自己紹介	私は医師になってから一貫して婦人科のがんの研究と患者の治療を行ってきました。子宮頸がんが 20～30 歳代の女性がかかるがんで日本ではどんどん増えています。病気は誰でもなる可能性がありますので、どうしたら予防できるのかを皆さんと共に考えていきたいと思ひます。			
開催日時・ 主な募集対象	平成26年8月2日(土)	(対象)	高校生 女性	(人数) 20名
集合場所・時間	奈良県立医科大学基礎医学棟4階小講義室	(集合時間)	AM10:00-10:20	
開催会場 (集合場所)	奈良県立医科大学大学 住所:〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 アクセスマップ: www.naramed-u.ac.jp/access/index.html			
内 容				
<p>(目的)子宮と卵巣の機能を学び、子宮で育つ胎児画像をみることにより、「子宮を大切に思う心」を芽生えさせたいと思ひます。その後、その大切な子宮を奪う子宮頸がんから「どのように守るか」を自ら考えていく能力を養ひましよう。</p> <p>(講義) 1. 子宮と卵巣の解剖と生理機能を解説します。 2. 妊娠中の胎児の超音波画像を用いて、胎児の発育に関して学びます。 3. 働き盛りの 20-30 歳代の女性に罹患率が最も多い子宮頸がんの原因およびその予防に関して学びます。</p> <p>(実験・実習) 1. 紙粘土により、実際の子宮および付属器の形状を再現してみましよう。 2. 胎児超音波を、シミュレーション機器を用いて自分で体験してみましよう。 3. 子宮頸部の病理組織を顕微鏡にて観察し、正常像から異形成という異常病変を経て子宮頸がんになる過程を学習しましよう。</p> <p>(実施場所) すべて基礎医学棟 4階小講義室で実施します。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
10:20-10:50 開会式(自己紹介、オリエンテーション、科研費説明など)			特にありません	
10:50-11:10 講義 1 子宮および卵巣の解剖と生理機能				
11:10-11:20 ミニ実習 子宮および付属器の再現(紙粘土による)				
11:20-11:30 休憩			特 記 事 項	
11:30-12:10 講義 2 妊娠中の赤ちゃんの超音波画像の供覧				
12:10-14:30 昼食と休憩				
14:30-15:00 講義 3 子宮がんの原因と予防				
15:00-15:10 coffee time				
15:10-15:40 実習 1 超音波シミュレーション機器による胎児確認				
15:40-16:10 実習 2 顕微鏡観察				
16:10-16:40 アンケート記入とディスカッション			特にありません	
16:40-17:20 修了式(未来博士号授与)、解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	奈良県立医科大学・産婦人科・小林浩
住所：	奈良県橿原市四条町 840
TEL 番号：	0744-29-8877
FAX 番号：	0744-23-6557
E-mail：	obgyn@narmed-u.ac.jp
申込締切日：	平成 26 年 7 月 25 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
小林 浩	H26-H28	基盤研究(B)	26293361	胎児期子宮内膜症発生説の実証と癌化機序の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。